



豊かな心を養う

子ども達が家を離れ、仲間達と宿泊生活することにより、自然に親しみ、心の触れ合いを深め、協調性と自立心を養い、健康な体と豊かな心をつくる。そうしたことを目的に、矢板市の高原山少年自然の家で児童文化教室が一四七名の児童を集め、七月二十五日から二泊三日で行われました。楽しかったキャンプファイヤー、苦しかったハイキングなど子ども達にとって貴重な体験だったでしょう。

子どもの 友達づきあいを考える



最近の子供たちを取り巻く生活環境は、以前に比べて変わってきています。友人関係・子供のつきあひにおいても、さまざまな面に変化しているといわれます。子供の数が減り、兄弟も少なくつたこと、近所の子ども同士があまり遊ばなくなつたこと、テレビを見たり、独りでゲーム遊びをする、ことが多くなつたことなどのさまざまな理由が考えられます。最近話題になつてゐる小・中学生のいじめの問題も、子供のつきあひの変化によることが大きいのではないのでしょうか。

子供のこの友達づきあひは、その後の人間形成の基礎となる重要な事柄です。保護者の方も地域の皆さんも、子供のこの力に……と無関心でいるのではなく、どうすれば子供が健全な友達づきあひができるようになるか、改めて考えてみようではありませんか。

友達づきあいは人間形成の基礎

子供は遊びやけんかを通じて成長する

子供は乳児期を過ぎ、外に出て遊びながら、友達をつくるようになります。しかし、それまで保護者に見守られながら育つため、その遊び方は自己中心で、初めての友達は友達とうまく協調し合つていくことができません。遊びでいても、すぐにおもちゃの奪ひ合いや場所の取り合いを始めてしまいます。

しかし、保護者の手から友達とのつきあひへと行動範囲を広げた子供は、やがて遊びやけんかなどの経験を通して、自分を主張したり、相手の主張を受け入れたりすることを学んでいきます。同時に、大人になってからの人間関係の基礎や守るべき社会の習慣を身につけていくのです。

子供が小・中学校へと進み、団体生活を始めるようになると友達づきあひにも個々の差が出てきます。一般に、つきあひ方の下手な

子供は、自分の気持ちを友達にうまく伝えることができずに、孤立してしまつたり、活発な友達と言ひになつてしまつたりすることがあります。一方、自己中心的で他人の気持ちに気が配ることができない子供は、友達に対して独善的な振舞ひをしがちです。

このようにつきあひ方の上手下手は、子供一人一人の資質によることもあります。しかし、それにもまして家庭でのしつけのあり方、乳児期以降の友達づきあひの経験とどれだけ多く積んできたか、などによる影響のほうが大きいのではないのでしょうか。

人間形成の基礎となる子供の「友達づきあひ」。保護者の方は、その重要性を理解し、子供の健全な成長の後押しをしてほしいものです。



親の「モノサシ」では測れない

現代の子供たち

親が子供をつけるとき、親は自分の子供時代を基準に考えがちです。しかし、親と子供の間には、一般に二〇年から三〇年の年月の開きがあり、どうしても親の「モノサシ」では測れない親観が出てきます。

子供へのしつけや友達づきあひについて考える前に、親は現代の子供たちを取り巻く火のやうな状況をまず知る必要があるのではないのでしょうか。

★帯帯あたりの子供の数が減り、その結果、兄弟間でもまれることが少なくなつた。

★家庭での勉強時間が増えたり塾、けいこ事などに通う子供が多くなつたため、友達と遊ぶ機会が減つた。

★特に都市部などでは隣近所と親つきあひが家庭が少なくなつたため、近隣の子供同士の遊ぶ機会が減つた。

★テレビ、漫画本、がん具などの影響で、家の中で独り遊びをする傾向が強くなつた。

子供にいたわる心や やさしさの気持ちをもたせよう

相手の身になって考えることの大切さ

他人をいたわる心、やさしい気持ちをもつこと——子供に限らず大人にとっても、円滑な人間関係を築く基本といえます。

一般に、だれでも人間関係などで、イヤなことやつらい目に遭ひ、心の痛みを感じることがあります。大人なら相手の立場に立つて物事を考えられるので相手の心の痛みを察して、いたわつてあげたいという、やさしい

家族ぐるみの交流で 子供の「情報交換」を

最近、近隣の家族同士の交流が以前に比べて少なくなつてゐるといわれます。しかし、家族同士の交流は、子供の健全な成長を助けるばかりか、親にとつてもプラスになることが多いものです。

例えば、親は、子供がどんな友達とどういふ遊びをしているのか、また、友人関係の中で、わが子がどんな立場にいるのかなどを知ることができます。ま

い気持ちをもち、それができます。しかし、子供の場合は、年齢や成長の度合いにもよりますが、相手の身になって考えるのは、なかなか難しいようです。それなりの学習と経験が必要なのです。

家族が子供に手本を示そう

では、他人をいたわる心、やさしい気持ちをもたせるには、ふだんどういふことに気をければいいのでしょうか。

まず大切なことは、子供にと

た、子供の成長についての情報交換もできます。家庭では気付かなかつたわが子の一面が伝えられてびっくり——ということがあるでしょう。

他人の家庭に行くことは子供の成長にプラス

一方、家族間の交流は、子供の成長にも大きくプラスします。子供が、自分の家族以外の大人——性格も考え方も違う



いろいろな大人との接触を通して、人間の多様性を知ることができると。他人の家庭に行くことは、子供にとって大切な勉強

なものです。わが家を子供の遊び場に開放したり、二、三の家族と一緒にハイキングに出かけたりして、積極的に交流を深めたいものです。

人権講演会開かれる

人権講演会が町と町人権擁護委員協議会の協働により、七月二日壬生中学校、七月八日南大飼中学校にて行われました。

これは、現代の社会生活の中で、自からの人権を主張する余力、他人の人権を顧みないために生ずる私人間の人権侵害が後を絶たない今日、次代を担う学生達に基本的人権とお互いの人権尊重の正しい意識を高めてもらひ、より豊かな人権感覚を身につけてもらおうと、町人権擁護委員協議会青木俊男会長が講師となり実施されました。

講演は、青木さんの子ども向けの体験談などをまじえながら進められ、中学生達は真剣な眼



壬生中での講演

差で話を聞いていました。基本的人権、それは何人も人間として、また、国民として生まれながらに持っている権利であり、侵すことのできない永久の権利として認められているものであります。このような基本的人権は、我々の祖先の貴重な努力によって取得した遺産であります。したがって国民一人一人がこれを失わないようしっかりと身に付け、いたずらに権利の上に眠ることなく、絶えず守り育てていかなければなりません。

人権擁護委員は、人権についてのさまざまな問題解決のため毎月第一火曜日に合同相談を実施しています。また、委員は直接でも、相談をお受けしますのでお気軽に申し出てください。

青木俊男（松原） 八二—一〇三五
田辺武（舟町） 八二—〇五五三
中村廣美（安塚） 八六—〇五五九
横山茂（東下吉） 八二—〇五二〇
橋本茂（六町北部） 八二—〇四七二



“楽しいつどい”



出発のときまでくらべものにならず、

一番印象に残ったのは、楽

しいつとて、な。キンドルに

ファイヤーのように「二人一

ペンドライト」を持ち「遠く

は落ちて」をみんなで手な

に歌いました。このとき、

くさんの友ができました。

クイズに答えたり、ゲー

て間、生活ができたと思っ

くなりました。

くになりました。

安塚小学校六年
小森由美

一生の思い出



羽生田小学校六年

六月二十八日、朝起きると雨が降っていた。宇都宮から新大塚へ、一台で晴海へ頭につけて新大塚へ丸がまっていた汽船が鳴って、島島までの船出。夜、巻船長さんなバーティを聞いてくれた。ごうかなんぞうで、とてもおもしろかった。

二日目、一番楽しかったのは夜の楽しい出来だ。ペラライトでキヤンドルファイヤをした後、各班でけやきやゲーなどの出合合を、ぼくたち一班は、合合合を、みんな時間がたつものむすれ、楽しくて、三日目、朝早く起きて外に出ると、もう西郷半島が見えていた。

といふ船で生活した。その三日間は「三日間」新さくら丸と仲間間で、うれしいことがたくさんあった。中でも心に残ったのは同じ部屋に友達ができたことだ。友達は、船の中をスポーツ・チャロ・チャロしたり、バスケットをしていたりするところ、ほとんど友達ができなかった。自分でもおどろくほどの数になつた。ねるときは、だが二番おそくまで起きていられるとかいひのややつた。けつきよかつた。

船での一番の思い出は、友達
ができたことだ。楽しいつどい
デッキランチなど、楽しいこと

壬生町民憲章 1. 思いやりに満ちた心であたたかい社会をつくります

空と海につつまれ
参加して



県子どもの船が六月二十八日から三十日の三日間、新さくら丸に県内の児童四六四名を乗せ鳥島まで往復一、二〇〇キロの航海を行いました。

本校から各小学校代表八名が参加し、東京晴海埠頭から八丈島付近を経て島島周辺までを往復する二泊三日洋上の旅は、船内での集団活動を通して、自己啓発、心身の鍛錬、連帯感の高揚を図るため、組別活動、各種講話、レクリエーションなどの学習が行われました。

子どもたちにとっては、何もかもが初めての体験だったことでしょう。そして、知っている友達はいない、そんな中で二泊三日の船旅をしました。船を降りた今、子ども達は何を思い、何を感じているのでしょうか。本町より参加した八人にも、その感想文を書いてもらいました。

こんな船に乗れるなんて

長谷川 栄子



子どもの船に参加して、いろ

「こんなすい船に、乗れるなんて、ワクワクしてきました。その言葉とおり、船の中にはブルーや、バスケットができる大きなデッキもありました。船の中の設備だけでなく、行事もとても楽しかったです。その中でも「楽しかったよ」や組別活動などは、とても楽しいものでした。」

までも大事にしたいと思います。

青くすんだ海

荳原



「もう三日過ぎたのか。」

帰りのバスの中で、一番最初にそう思った。長いようで、あっという間だった。

船内の生活で、一番印象に残っていることは、やはり海だ。青くすんだきれいな海。海は広く大きい。左右前後どこを見ても海。周りはすべて水平線。上

には青い空と雲、きれいに輝く太陽。それから、ぼくらと船をつつんでくれている。ぼくは海から大きな希望と勇気をあたえられたように感じた。こんなことは生まれて初めての体験だ。それに友達もたくさん出来た。楽しかったことも山ほどある。

この大海原での初航海、子供
の船での三日間を、ぼくは一生
わすれないだろう。

鳥島が見えたぞ！

篠原英子



「鳥島が見えたぞ。」

それで、時々きのはしへ行って見
たけれど、とても大きな島が
海の上に浮かんでいた。
子どもの船の目的地である島
にやつたりどついたりしたのだ。ま
つ青奈太平洋と空との間に浮か
ぶ島は周りは絶壁で内陸は
美しい緑の森であった。
県内の各小学校から選ばれた四
百六十四人の子も達が『新さ
くら丸』（晴海埠頭まで乗って
来たバス）の何倍あるかわからな

子供の船で得た友情
壬生小学校六年
鯉沼久恵



供の船」に王小姐を代表して、「子供供の船」に参加しました。

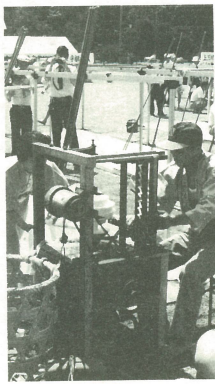
東京晴海から島島往住の旅です。私にとては初めての経験。でも船よ、などが心でうたってもそんな不安もしたにうすれてきました。それは、船よいはしたけれど、あたたい友達の友情があらたからです。その友達とは、今日まで一度も会ったことのない人達ばかりなのに、やさしく親切に世話してくれました。私はとても感じきき、この時改めて人の出合い、そして友情を感じました。

子供供の船でこのことを学んだ三日間、このすばらしい友情をわたしは、忘れることができません。

つくります

日頃鍛えた技を競そう 千びようむぎ技術大会

栃木県千びようむぎ技術大会が県千びよう生産流通連絡協議会の主催により、国分寺町尼寺公園で実施され、本町代表で出場した中泉の荒川さん夫妻が四位に入賞しました。



4位入賞した荒川さん夫妻

県道宇都宮～栃木線を現地調査 県議会土木常任委員

県議会の土木常任委員が七月十六日、町の要道箇所の一つである、県道宇都宮～栃木線の現地調査を行いました。この調査は、この県道が県都に通じる重要な道路であり、交通量も多い。しかし、道幅が狭く、道の両側には住宅が密集しているため、交通が渋滞したり、交通事故が多発するなど、生活に支障をきたしています。



調査する土木常任委員

米国交換学生が 町長を表敬訪問



町長を囲む交換学生

ロータリークラブの招きで本県を訪れているアメリカの交換学生のうち、本町に滞在中の三人が、七月十三日町長を表敬訪問しました。三人の学生は、町長より町内の地図などの資料を町長より取り、それを見ながら熱心に町長の話に耳を傾け、そして、町の人口や位置などの質問もあり三〇分ほど懇話しました。三人は、七月九日に来町し、滞在中はロータリークラブのメンバーの家にホームステイしながら、おもちゃのまち、独協医科大学などを見学したり、町内の中学生達との交換会に参加するなどして、十四日に次の滞在地宇都宮市へ向いました。

町史編さんだより 48

剣の道 神道無念流と壬生 (6)

剣二世、戸賀崎熊太郎胤芳(一)

伝えられている、しかし四十五才の若きで世を去るに、高弟の中村万五郎・木村定次郎の二人に幼い長男芳栄の後見を託した。剣三世の戸賀崎熊太郎胤芳(一八〇七—一八六五)喜道軒と号する、前述二人の後見人について剣を学び名剣士となる。父有道軒に見習い文政七年(一八一四)東海地方を遊歴のち再び翌八年、東海・上土地方を遊歴、天保十二年(一八四一)江戸に出て、牛込薬店(現在の東京都新宿区袋町)に思われる。道場を開き天下にその英名をはたせた。

のちに水戸藩主、水戸斉昭の数度の懇請に応じて客分となり五人扶持を賜り剣術師範として活躍、後年五十人扶持、上士に名をばたせた。

時代が変り、明治十一年(一八七八)郷里(現久喜市)清久に帰る多くの門人の育成に当たっていたが、武道の時代の終息を感じ絶望、割腹自殺した。

剣二世、戸賀崎常清(一八六五—一九二二)は好道軒と号した。

水戸藩、その他諸々の流れについては大回に述べる。



戸賀崎・剣一世 戸賀崎熊太郎胤芳・知道軒肖像

壬生町民憲章 1. きまりを守り互いに信じあう明るい町をつくります

壬生町民憲章 1. 働くことによるこびをもち豊かな生活をさずきます

町史研究 あれこれ

壬生氏五代の廟所 (5)

壬生氏五代の墓を訪ねて、いよいよ町外に出てみよう。鹿沼市内をすぎ、古跡街道を北上する事十五分程、大森川を渡るとすぐ左手、秋葉山麓の通称「寺山」の山ふところに、

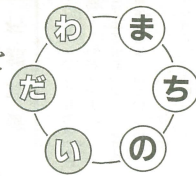
田下沢村恵光寺(現名宝光寺)がある。恵光寺は壬生氏三代目綱房の建立と伝え、本堂裏の杉木立の中に綱房の墓と伝えられる墓碑がある。あいにくの雨であつたが、住職六角師の案内で墓前に詣でることができた。

墓碑は二基あり、共に笠付型で、高さ一、三米程の大きなものと、その半分くらいのものと、大きい方が綱房の墓であるとの住職のお話であつた。これは小さい方はその子綱雄の墓かと思われ、両方共ひどく摩滅損傷していて文字は読めず誰の墓とも決定はできなかった。後日再度恵光寺をおとすれて拓本を採ったが、正面に五つの文字があるのが判っただけで、やはり判読はできなかった。

さて恵光寺は現在宝光寺といひ、曹洞宗に属し、代々住職は勤行の時「御開基」として、竜昌院殿恵光芳哲大居士の法号を毎日唱えている。もちろん綱房の戒名として唱えている訳だが、実はこの戒名は一般に四代目綱雄のものとなえられている(「下野国誌壬生系図」「常楽寺過去帳」等)このよう

恵光寺開基壬生綱房の墓





道ゆく人に安らぎを 松寿会除草作業



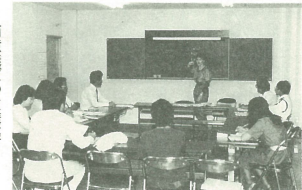
なごやかに作業を行う会員の皆さん

上稲敷下町の老人クラブ松寿会（荒川重利会長）では、七月十七日国道三五二線沿いの花壇の除草を行いました。
松寿会では毎年、老人クラブ活動の一環として年に三回ほどは会員連呼びかけ、道路沿いの美化作業を行っています。
この日晴天に恵まれ、朝から三〇名ほどの会員が集り、稲葉小学校前歩道橋から後稲葉支

町民のひろば

「町民のひろば」はみんなで作るページです。まちのわだいは、身近なニュースやできごとを、職場の若者を紹介される方は、男女は問いませんがなるべく独身の方を、「私の家族」は小学生男女の方、わたしの自慢料理は主婦の方へ一報ください。

生きた英会話を学ぶ 青少年ホーム英会話講座



有意義だった講座

勤労青少年ホームで五月より開かれた第一期講座の中で、英会話講座は、外国人の先生を招いて毎週金曜日に講座が開かれました。
この先生は、オーストラリアから益子町に陶芸を学びに来日

しているアンマリ・ブラットニーさんで、現在、町内の英会話教室で陶芸の勉強の片われ、英会話を教えています。
講座は、六月七日より七月五日まで、毎週金曜日午後六時三〇分より八時三〇分まで行われましたが、二カ月の短かい期間で講生の英会話力はかなりついに受講生も、先生に生きた英会話を習えてよかったと好評でした。
勤労青少年ホームでは、若者が有意義な余暇活動ができるよう、いろいろな講座を企画しています。九月より第二期講座を開く予定です。料理、ダンスなどありますので、どうぞ参加ください。

短歌

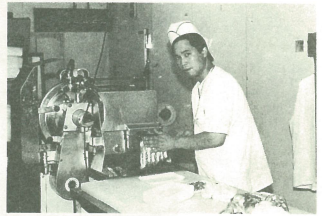
王生町文化協会文芸部選

俳句

風邪に伏す部屋に夫のきこちなき野菜を刻む音のきこえる 谷原 芳
雲海よとカメラ構ふるひまもな 茂木 富美
阿蘇山の火の国茶屋の箸袋曲に順待つポケットより出づ 渡辺 寅八
戦ひはかく果てにきと姫百合の洞窟のみて現目にぞ見つ 小平さよ子
あやめ咲く心字の池の右ひだり 鈴木 愛子
柿の花散り敷く医院の裏門に 衆川 とめ
走り梅雨白磁の器に翳淡き 衆川 綾子
やわ土にこぼれて淡し柿の花 佐藤 淑子

職場の わかもの

河田 武志 くん (23)
トーヨーコ壬生店



「やる気」「根気」は人一倍

私共トーヨーコは、イトーヨーカドーグループの一員として十年になります。また、壬生駅前を店を構えてから、もうじき十年になろうとしています。これも、ひとえに壬生町のお客様の引き立てと存じます。
さて、ここに紹介しませう河田君は、当社に入社して五年になるヤング社員です。河田君の担当は精肉です。精肉部に移って二年ですが、やる気、根気は人一倍の彼です。常にお客様の立場に立ち売場を考え、鮮度維持、新商品作りとに早朝から夜遅くまで頑張っています。将来

は、精肉部を背負って立つ人材と期待しています。
一見、顔を見ると二十三歳にとても見えませんが、心はヤングです。公休日には、ゴルフ、釣りにと趣味も多彩にこなす好青年です。また、男子社員の中では、紅一点の独身社員です。こんな素晴らしい若者ですがまだ、決まった人がいないようです。現在、花嫁募集中、だそう

です。
となたか、彼にやさしくてかわい彼女を紹介してあげてください。よろしくお願ひいたします。
紹介者 壬生店長 青木政

私の家族

わたしの お父さん

壬生小学校三年 勝野 利恵子



うちのお父さんは、きかい工場に勤めています。だから、きかいをあつかうのが、とても上手です。その上、家ぞくで一番物しりです。みんな、何かお



お父さんの光昭さん

からないことがあると、何でもお父さんに聞きます。
しゅみがあります。それは、は品がいしゅうに出してある、古いせんたくきや、ステレオやさまざまなものを家に持ちこんで、こわれているものはおん、
「いいじゃないか。」とお父さんはいいます。
わたしは、お父さんのしゅみについていいことなのかなあとふしぎに思うことがあります。
ことだよねと思っておしゅみです。だって、いちどとられたものをふたたび、生かえらせたいげられるように思えるからです。ちよつとへんしゅみをもっているお父さん。でも、そんなお父さんをわたし家ぞくのみなは、大好きです。

わたしの 自慢料理

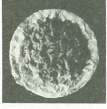


牛肉のホイル焼き



舟町 岩崎 静江

【材料】5人分 牛肉 120g・新ごぼう 150g・葉ねぎ 1本・椎茸 50g・（赤味噌 150g・だし汁 1/2C・酒 大さじ 2・砂糖 70～100g）・油少々・あさつき 3本
【作り方】①牛肉と椎茸は太めのせん切り、葉ねぎは1cmの小口切り、ごぼうはささがきにして酢を入れた湯でさっとゆでる。②()の調味料をまぜ合わせて火にかけ、かきまぜながら煮て甘味噌を作る。③油を熱し、ねぎをさっと炒め、牛肉、椎茸、ごぼうを加え、甘味噌を入れてまぜ合せます。④ホイルの上に③のをのせ、網の上のせて弱火でゆっくり焼くか、又は、オーブンで焼きます。⑤焼き上がったものをかけます。
【このコーナーへは、どなたでも参加できますので一報ください。】



十月一日国勢調査 おかわりありませんか あなたのお宅

十月一日には、国の最も基本的な統計調査である国勢調査が行われます。国勢調査の結果は福祉、雇用、交通、環境整備、住宅建設などみなさんの暮らしに密着した様々な問題について国や都道府県、市区町村が行政を行うための基礎資料として利用されるものです。



七月の町内価格調査結果

品名	単位・品質	最低値～最高値	平均	前月平均
小麦粉	1等粉 1kg	168～218	192	194
豚肉	もも肉 100g	105～180	158	156
サラダ油	ビン入 1,650g	580～698	644	640
砂糖	上白糖 1kg	208～270	242	245
しょう油	濃口ボリ入 1kg	231～450	281	275
塩さけ	100g	198～278	234	227
さばカン	水煮2号 220g	95～138	112	111
インスタントコーヒー	150g	880～1,100	985	961
キャベツ	1kg	65～800	379	153
玉ネギ	1kg	10～150	84	89
卵	10個入 M	169～210	195	191
ちり紙	1,200枚	198～260	210	232
ティッシュペーパー	400枚	118～150	132	137
洗濯洗剤無り	2.65kg	830～910	887	888
台所用洗剤	380ml	129～288	164	162
ラッブ	30cm×20m	120～210	162	170
アルミホイール	25cm×8m	99～138	122	120
灯油	18ℓ	1,350～1,600	1,443	1,456
プロパン	5㎡	2,850～2,960	2,872	2,872
ガソリン	レギュラー 1ℓ	135～145	141	142
軽油	1ℓ	93～110	102	103

第2保育所で 七夕祭り

町立第二保育所では、七夕を前日に控えた七月六日、葉竹に飾り付けをして、それを近くの南大飼公民館 役場南大飼支所 石橋地区消防安縁分遣所にプレ



飾り付けをする子ども達

子ども達はこの日、葉竹に紙のくさりなど色とりどりの飾りと、自分の思い思いの願いを書き込んだ短冊を飾り付け、それを保育所の入口へ立て飾りました。そして小さい葉竹にも同じ

福祉基金へ十万円寄付



寄付を受け取る町長

七月十九日に行われた第四回 佐藤三郎ゴルフ会の席上、その基金の一部十万円を福祉事業推進のために、福田穂会長より福祉基金へ寄付されました。

ように飾り付けをして、それを近くの公民館などへアレセントしました。
天の川の兩岸にある牽牛星と織女星が年に一度相会するこの七夕に、子ども達みんなの願いを短冊に託したことでしよう。

善意銀行

- 金九、〇六五円
- 金五、〇〇〇円
- 金五、〇〇〇円
- 金四、八〇八円
- 月かげ幼稚園育成会
- 婦人講座受講者一同

九月の納税

国民健康保険税
国民年金
第三期分
七・八・九月分

まちのうごき

8月1日現在	
総人口	37,158人 (+24)
男	18,444人 (+12)
女	18,714人 (+12)
世帯数	10,524世帯 (-7)
() 内は前月比	